

第2回 横浜市野毛山荘指定管理者選定委員会 議事録	
日 時	令和3年8月16日(月) 10時30分～12時00分
開 催 場 所	西区役所 4A 会議室
出 席 者	<p>【選定委員】</p> <p>石井 忍(委員長)、有村 知里、梅山 胖、菱倉 圭吾、村井 恵子</p> <p>【事務局】</p> <p>畠山地域振興課長、岡田担当係長、幸田担当職員、小高担当職員</p>
欠 席 者	なし
開 催 形 態	一部公開(傍聴者0人) ※プレゼンテーション終了後の質疑以降は非公開
議 題	<p>1 面接審査について</p> <p>2 その他</p>
決 定 事 項	<p>次の団体を指定候補者として選定した。</p> <p>【指定候補者】社会福祉法人横浜市社会福祉協議会</p> <p>この結果を西区長に報告する。</p>
議 事 委 員 意 見	<p>1 面接審査について</p> <p>(事務局) 第1回選定委員会の際の決定事項に基づき、プレゼンテーション後の採点、指定候補者の選定については非公開とすることを確認。</p> <p>面接審査の進め方について説明。</p> <p>(委員長) 最低基準については各委員の採点結果の平均が満点の6割以上であることを再確認。</p> <p>(委員) 異議なし。</p> <p>【応募団体：社会福祉法人横浜市社会福祉協議会】</p> <p>(団体) プレゼンテーション実施</p> <p>[質疑]</p> <p>(委員) 「医療機関との連携」とは具体的にはどのように考えているか。</p> <p>(団体) 現時点で日常的に連携している医療機関はないが、デイサービスの利用者からは事前に主治医を聞いて把握しているため、緊急の際は、まず主治医に連絡し搬送することとしている。</p> <p>(委員) 新型コロナウイルスが蔓延する現在の状況下では、医療機関とうまく連携していないと病院に受入てもらえずスムーズな搬送が難しいと感じるが、そのあたりはどのように考えているか。</p> <p>(団体) デイサービス利用者の主治医の把握に加えて、野毛山荘利用者には、利用者証に緊急連絡先やかかりつけ医の情報を記載してもらうことで、事前に緊急時の連絡先を把握しており、状況に応じて臨機応変に対応している。利用者が別の老人福祉センターの利用者証を所持している場合には、発行した施設に連絡をとり確認している。</p>

- (委員) 応募資料内 P19 の広報誌はどこで配布しているのか教えてほしい。
- (団体) 施設が位置する第 4 地区で配布しているほか、施設の HP でも掲載している。
- (委員) 別の地区の高齢者も野毛山荘を利用している方は多い。可能であれば、もう少し広範囲に周知をすることで、さらに多くの方知ってもらう機会になるのではないかな。
- (団体) 検討する。
- (委員) ICT 化は具体的にどのように進めるのか。
- (団体) 今年度中に Wi-Fi 設備を設置する予定となっている。
- (委員) インターネットの情報提供を具体的にどのように実施していくのか。
- (団体) ホームページで事業の紹介をしており、市・区の広報サイトである「横浜カレンダー」からもリンクを貼っている。施設の利用者は 70~80 代の高齢者層が中心であるため、インターネットを使用しない方が多いことから紙媒体の広報も引き続き進めていく。
- (委員) 60 代であれば、インターネットを日常的に使用する方も多くいる。ターゲットとする世代をもう少し下げた関わり方が必要だと思う。
- (団体) アウトドアやコーヒーの講座など若い人の興味を惹けるような講座を、現役世代が参加しやすい土日中心に組むといったことを考えている。
- (委員) SNS であれば LINE は 80 代でも使いこなしている人がいる。LINE を使って発信するのは有効と考えられる。
- (団体) 現状 LINE は使っていないが、そういった取り組みのきっかけとなるよう、携帯キャリア事業者の協力を得て、「はじめてのスマホ講座」を行うなど、そういったツールに慣れてもらう工夫は行っている。
- (委員) 地域ケアプラザとの連携を図る場はあるか。
- (団体) 藤棚地域ケアプラザと同じ地区に位置するため、介護予防普及啓発事業を連携して実施している。野毛山荘の事業を案内してもらうこともある。
- (委員) 施設の職員は既にワクチン接種しているのか。
- (団体) 9 割接種している。
- (委員) デイサービスの職員はどうか。また PCR 検査は受けているのか。
- (団体) ワクチン接種済みだが、PCR 検査は受けていない。
- (委員) デイサービスの非常勤職員は資格を持っているのか。
- (団体) 資格要件は無いが、8 割は介護福祉士の資格を持っている。生活相談員の 3 名も介護福祉士の資格を持っている。
- (委員) 昨年度は新型コロナウイルスの影響で実施できなかったイベントが多数あると思うが、今後は with コロナで考えていく必要がある。今年度はお祭りのようなイベントの予定はあるのか。
- (団体) 現状、祭りの開催は難しい。利用団体の作品の展示など検討している。
- (委員) オンラインでイベントを実施するといった計画はあるか

(団体) 地域振興課や区民活動支援センターにしとも広場とも調整し検討している。ICTが苦手な利用者にも参加しやすい方法を考慮する必要があると認識している。

2 指定候補者の選定について

評価点 71.6点/90点

(委員長) 社会福祉法人横浜市社会福祉協議会を指定候補者として選定する。

(委員) 異議なし。

[講評]

- ・安定した財政基盤がある。
- ・これまでの安定した施設の運営管理の経験がある。
- ・新規利用者の獲得が課題に主体的に取り組んでほしい。
- ・Wi-Fi設備の導入等、今後の取り組みに期待できる。
- ・今後の取組等の予定の実現可能性が見えなかった。具体性のある計画を検討してほしい。